

artschallenge.jp

I Got Up
アール・チヤレンジ

アール・

活動奨励費
30万円

2022

チヤレンジ

作品
募集

募集期間：
2021.
7.3 sat. —
8.30 mon.

アーツ・チャレンジ 2022 作品募集

「ARTS CHALLENGE 2022」は、若手アーティストから作品プランの募集を行い、活動発表の場を提供することにより、愛知から世界を舞台に活躍するアーティストの輩出を目指し開催するものです。審査員により選出された8名/組程度のアーティストに、本事業の学芸スタッフによるサポートを受けて、愛知芸術文化センターで作品の制作・展示をしていただきます。本公募展は、国際芸術祭「あいち2022」のプレイベントとして開催するもので、芸術祭のコンセプトと関連したテーマを設定するとともに、募集内容や審査方法、サポート体制もリニューアルします。愛知芸術文化センターを舞台としたアートの創造にぜひチャレンジしてください。

募集内容

テーマ **I Got Up 生きなおす空間**

- 愛知芸術文化センターのパブリック・スペースや展示室（アートスペースX）を活用する作品プランを募集します。普段は作品展示で使用されることの少ない空間が「生きなおす」ような、その様相を大きく変化させたり、場所の特性にポジティブにตอบสนองしたりするプランを期待します。
- テーマに含まれる《I Got Up》は、愛知県出身のアーティスト・河原温による同名のシリーズ作品で、世界各地から河原の起床時間が印字された絵葉書を送るという作品です。応募する作品プランは、河原による同作を直接参照したものから、独自に解釈を加えたものまで、多様な展開が可能です。
- 作品プランは、ジャンル(平面、立体、映像、インスタレーション、パフォーマンスなど)、素材(木、金属、陶など)を問いません。
- 応募できるのは1名/組につき、1点とします。
- 他の公募展等に応募していない未発表のオリジナル作品に限ります。

募集期間 2021年7月3日(土) — 8月30日(月)17:00 [オンライン応募のみ]

審査員

○審査員（五十音順・敬称略）

沢山 遼 [美術批評家]

新藤 淳 [国立西洋美術館主任研究員]

竹村 京 [アーティスト]

中村史子 [愛知県美術館主任学芸員、国際芸術祭「あいち2022」キュレーター]

○特別審査員（敬称略）

片岡真実 [森美術館館長 / 国際美術館会議（CIMAM）会長]

4名の審査員に加え、国際芸術祭「あいち2022」芸術監督の片岡真実が特別審査員として応募書類の通覧を行います。

活動奨励費および賞

○活動奨励費：30万円 入選8名/組程度 ※入選者全員に支給

○審査員賞：20万円 3名/組

公募展開幕前日に実作審査を行い、
沢山氏、新藤氏、竹村氏がそれぞれ各1名/組選出します。

○観客賞：1名/組

公募展開催期間中の2022年1月22日(土)～30日(日)に
来場者投票で決定し、特設サイトで結果発表

[その他のサポート]

- 選考後は、国際芸術祭「あいち」組織委員会事務局の学芸スタッフが制作のアドバイス、コーディネートを行います。
- 入選後の会場説明会、授賞式・内覧会、リレー・トークへの参加に係る旅費・宿泊費は主催者が負担します(条件あり、詳しくは募集要項を参照のこと)。
- 公募展開催期間中にワークショップを実施した入選者には、活動奨励費とは別に定額謝礼をお支払いします。
- 公募展開幕後に、入選作品の展示写真や審査員による講評を収録した記録集を発行します。

応募方法

応募はオンラインでのみ受け付けます。「ARTS CHALLENGE 2022」の特設サイトの「募集要項」のページから応募用紙をダウンロードし、応募フォームからご応募ください。詳細な応募書類の提出方法は同サイトに掲載しています。

特設サイト

<http://artschallenge.jp>



入選作品の展示

「ARTS CHALLENGE 2022」

展示期間：2022年1月22日(土)～2月6日(日)

会場：愛知芸術文化センター

アートスペースX およびパブリック・スペース

開館時間：10:00～18:00

休場日：月曜日(1月24日、1月31日)

観覧料：無料

主催：国際芸術祭「あいち」組織委員会

助成：一般財団法人地域創造

お問い合わせ

国際芸術祭「あいち」組織委員会

「ARTS CHALLENGE 2022」係

〒461-8525

名古屋市中区東桜一丁目13番2号 愛知県芸術文化センター内

TEL 052-971-3111 (代表)

[受付時間：9:00～17:00 土日祝を除く]